

**令和2年度 事務事業総点検シート(1)**  
**[ 令和元年度事務事業 ]**

<b>特別会計</b>		<b>事務事業分類</b>	A 一般事務事業
<b>事務事業名</b>	地域介護予防活動支援事業(自主運動グループ育成)	<b>シート番号</b>	011-267
<b>担当部署名</b>	健康福祉 局 長寿社会 部 地域包括ケア推進 課	<b>評価責任者(課長名)</b>	阿加井

**Ⅰ. 基本情報**

<b>基本情報</b>	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け	
			施策	2	地域全体で支える福祉の仕組みづくり	無	
	2	事業開始年度	平成 18 年度		終了(予定)年度	— 年度	
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	介護保険法				
	4	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(平成30(2018)～32(2020)年度)				
5	事業実施の経緯	平成18年度介護保険法改正により市町村が実施することとなった。					

**Ⅱ. 事業概要**

<b>事業概要</b>	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	介護予防につながるボランティアグループや自主運動グループに参加する高齢者の活動支援を行う。				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	高齢者ができる限り自立した生活を送れるよう、要支援や要介護状態の予防(介護予防)を図る。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	地域の介護予防を目的とした自主的な取り組みをサポートするため、介護予防に資するボランティアグループや自主運動グループ等を育成支援する。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )					

**Ⅲ. 投入量**

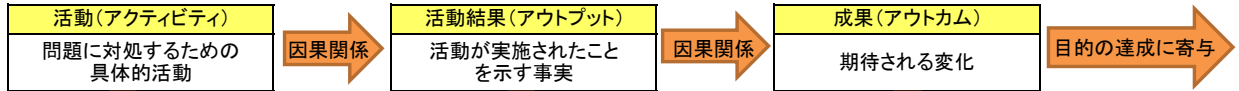
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	796	682	796	495	844	523	1,021
主な事業費内訳	報償費	千円	329	341	329	231	329	176	496
	その他	千円	467	341	467	264	515	347	525
	国・府支出金	千円	299	255	299	186	316	196	383
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
財源内訳	市債	千円							
	その他(被保険者保険料)	千円	398	341	398	247	422	262	510
	一般財源	千円	99	86	99	62	106	65	128
12	人件費 (b)	千円	340	340	820	340	340	340	350
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	1,136	1,022	1,616	835	1,184	863	1,371

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	地域介護予防活動支援事業(自主運動グループ育成)	シート番号	011-267
-------	--------------------------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



[14]令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載	<b>【達成率に基づいた評価基準】</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>評価</th> <th>達成率</th> </tr> <tr> <td>大変良い</td> <td>120%以上</td> </tr> <tr> <td>良い</td> <td>100%以上120%未満</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>80%以上100%未満</td> </tr> <tr> <td>少し悪い</td> <td>60%以上80%未満</td> </tr> <tr> <td>悪い</td> <td>60%未満</td> </tr> </table>	評価	達成率	大変良い	120%以上	良い	100%以上120%未満	普通	80%以上100%未満	少し悪い	60%以上80%未満	悪い	60%未満
評価		達成率											
大変良い		120%以上											
良い		100%以上120%未満											
普通		80%以上100%未満											
少し悪い	60%以上80%未満												
悪い	60%未満												
[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載													

#### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	<p>本市が実施する介護予防教室や講座受講後、参加者が今後も継続して、介護予防に取り組むことができるよう、各区において、自主的に活動するグループの立ち上げや、OB会の継続活動にむけた支援を行った。活動の継続ならびに活性化するよう、定期的な保健センターの健康教育の実施や運動指導員等の専門職を講師として派遣するなど、後方支援を行った。 自主的に介護予防に取り組むグループへの継続支援を平成25年度から令和元年度まで492回実施した。 また、新たに介護予防に取り組む活動グループを平成25年度から令和元年度まで62グループ育成した。</p>						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		グループ育成支援実施回数	回	目標値	50	100	100	107
				実績値	85	96	107	
				達成率	170%	96%	107%	
	評価			大変良い	普通	良い		
	算出方法・設定根拠など		介護予防に取り組む自主活動グループの継続支援回数					
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		グループ育成数	グループ	目標値	8	8	8	8
				実績値	8	13	5	
				達成率	100%	163%	63%	
	評価			良い	大変良い	少し悪い		
	算出方法・設定根拠など		介護予防に取り組む新規の活動グループの育成数					

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	グループ育成支援実施回数	回	85	96	107
	②	上記①にかかる年間経費	千円	1,022	835	863
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	12,024	8,698	8,065
	備考(算出についての説明等)		自主活動グループ継続支援として講師派遣に係る経費			
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	グループ育成数	グループ	8	13	5
	②	上記①にかかる年間経費	千円	1,022	835	863
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	127,750	64,231	172,600
	備考(算出についての説明等)		新規グループ立ち上げに係る経費			

#### 業績の分析

19	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>保健センターの働きかけにより、教室、講座期間終了後も、自主活動グループとして継続して、活動ができるよう、参加者の交流や自主的な集まりの機会を企画するなどの支援をしたことで、グループ育成支援回数が増えた。 本市が開催する介護予防に資する教室参加後、参加者自らが自主的に継続して介護予防に取り組むよう、各区でグループの立ち上げや活動継続のための支援を実施したが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から介護予防教室が開催できず、参加者同士の交流や立ち上げに向けた支援ができなかったことで、新規の自主活動グループの育成数が減少した。 年々参加者が高齢化しており、新規グループの大幅な増加は困難である。</p>
----	---

- 【分析のチェックポイント】**
- 事業の達成度はどうでしたか。
  - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
  - 資源投入は適切でしたか。
  - 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
  - 有効性は高いですか。低いですか。
  - 効率性は向上していますか。
  - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
  - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

## 令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	地域介護予防活動支援事業(自主運動グループ育成)	シート番号	011-267
-------	--------------------------	-------	---------

### ≪V. 点検≫

#### ＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検(必要性・有効性・効率性)	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 地域で活動する自主的なグループが継続して活動することが困難となる。介護予防の取組や外出の機会が減り、その結果、高齢者の身体機能の低下や認知機能の低下の恐れがある。要介護認定者の増加につながる可能性がある。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 高齢者の外出の機会が減り、身体機能、意欲の低下の恐れがある。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 介護予防の取組においては、高齢者の増加に伴い、身近な地域で自主的に集まり、継続して取り組むことが、重要であることから、縮減はできない。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から高齢者自ら新しい生活様式のもと教室を開催する必要がある。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/> ) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (                      ) 関連事業名 (                      ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他(                      )	<b>理由・説明</b> 他政令市等の事業実施状況等を調査し、新しい生活様式に対応した教室の運営方法等を検討する。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		<b>所見</b> 高齢者にとっては、身近な通いの場で、仲間とともに定期的に介護予防に取り組むことが重要であるが、今般のコロナウイルス感染拡大防止の観点から、3密を避けて、各自での介護予防の取組を余儀なくされた。今後、新しい生活様式のもと、ICTの活用など、通いの場等に集まる取組にとどまらず、社会参加や地域づくりにつながる多様な取組についても検討していく。		